

全学テーマ別評価のテーマ概要

「国際的な連携及び交流活動（仮称）」

【平成14年度着手分】

1 テーマの趣旨

今後の21世紀の世界は、社会、経済、文化の地球規模での交流がますます進展し、国際的な協調、共生関係が増大する一方で、国際的な競争も激化する時代になると予測されています。このような趨勢の中で、大学及び大学共同利用機関（以下「大学等」という。）に対しても、国際的な通用性や共通性を高めつつ、より一層世界に開かれた機関となることが期待されています。

とりわけ、国際的連携・交流活動は、研究面では学術研究が本質的に国際的性格を有するものであり、その水準向上を図っていく上で研究者同士の知的刺激の授受が不可欠なものであることから、その積極的推進が求められています。また、教育面では、学生の相互交流による異文化理解と友好の増進や、人材育成を通じた知的国際貢献の促進などの観点から、一層の取組が求められているほか、様々な国際連携・交流の活動が行われてきています。

本テーマにおいては、これらの状況を踏まえ各大学等で行われている様々な活動のうち、全学的（全機関的）組織で行われている活動及び全学的（全機関的）な方針の下に部局等において組織的に行われている活動を対象とし、各大学等が設定した本テーマに関する目的及び目標に即して、それを実現するための取組状況や改善のための取組等について評価を実施します。

2 対象となる活動の例

本テーマの評価の対象となる活動として、以下のような例が考えられます。これらは一般的に考えられる活動の例示であり、すべての対象となる活動を表しているものではなく、すべてが対象として取り上げられる活動でもありません。

研究面における連携及び交流活動

『国際交流協定の締結』，『国際共同研究の実施』，『外国人研究者等の受入』，『教員の海外派遣』

教育面における連携及び交流活動

『国際交流協定の締結』，『留学生の受入』，『教員の人事交流』，『学生の海外派遣』，『インターネットを利用した国際授業交換』，『日本学術振興会・JICA等への協力』

その他の活動

『国際会議・国際シンポジウムの開催，参加』，『大学独自の国際交流基金の設置』，『地域との連携による国際交流事業の実施，参加』

3 対象機関

国立大学（短期大学を除く99大学）及び全大学共同利用機関（15機関）
公立大学（10大学）